

・ Google スプレッドシートを活用し、単元計画、学習の成果物、振り返りをスタディログとして蓄積した。このシートは、個別に時系列で記録するとともに、学級内で共有されており、他の生徒が記入したシートを相互に参照できるようになっている。各教科の特性に応じた項目を設定しているが、校内で共通した運用を進めた。

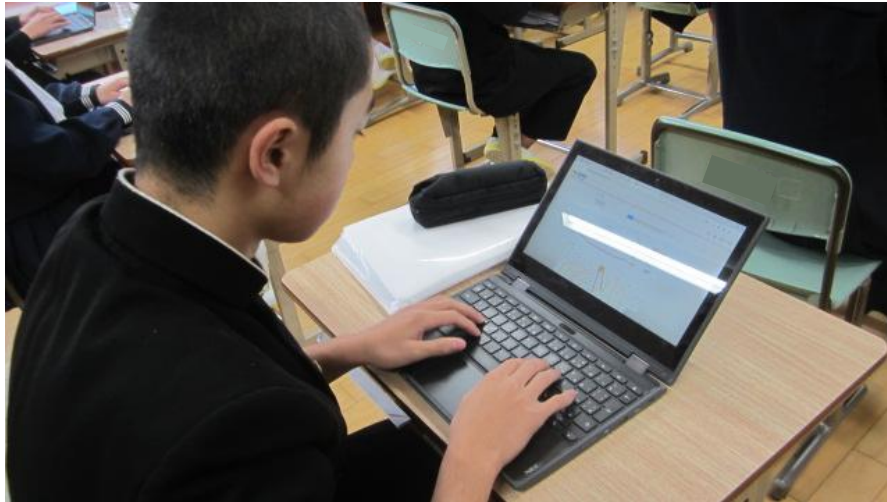
リーディングDXスクール事業 【実践事例】

武雄市立武雄北中学校（佐賀県）【指定校】

【取組内容②】 情報活用能力の育成（朝の活動でのタイピングの取り組みについて）

【取り組みの概要】

朝の活動の時間（北中クリエイティブタイム）の一環として、毎週水曜日と木曜日にタイピング練習を設定した。また、年に3回、生徒会の生活安全部が「タイピンググランプリ」を企画し、タイピングの腕を全校生徒で競っている。



タイピング練習の様子

No	名前	スコア	
1		373	
2		227	
3			
4		317	
5		318	
6			
7		234	
8		339	
9		369	
10		276	
11		521	
12		204	
13		76	

🏆 ランキング 🏆		
🥇	846	
🥈	802	
🥉	663	
4位	584	
5位	541	
6位	526	
7位	521	
8位	509	
9位	488	
10位	480	

タイピンググランプリ結果

【目指す生徒の姿】

タイピング練習を通して、キーボード入力能力を上げることで、

- ① 自分の思考を正確かつ迅速に表現できる。
- ② キーボード入力にかかる時間が短縮され、作業効率を向上させ、その他の活動や思考する時間が増える。

【生徒の変容】

- ・ 1年間タイピング練習を続けたことで、タイピングの平均スコアが345.2点から463.8点に上昇した生徒もいた。
- ・ 授業では、タイピングが苦手なために表現などの活動を敬遠する生徒が減少した。

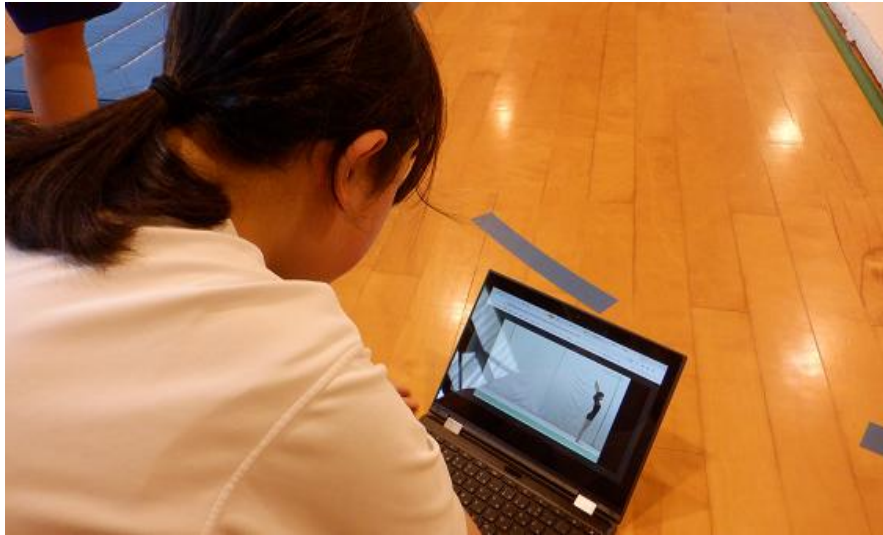
リーディングDXスクール事業 【実践事例】

武雄市立武雄北中学校（佐賀県）【指定校】

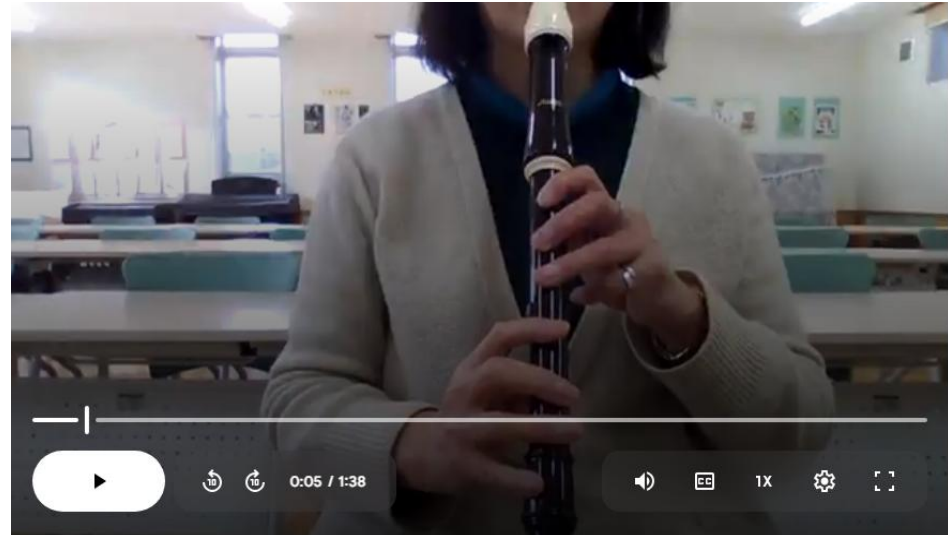
【取組内容③】動画教材の活用（保健体育・音楽での取り組みについて）

【取り組みの概要】

実技を伴う教科においては、動画教材（自作またはデジタル教科書等の教材）が有効である。模範の実技を見たいときに、何度も確認することができたり、自身の実技を客観的に振り返ったりする機会が増えた。また、他の生徒の動画をチェックして自分の動きに生かすなど、協働的な学びが促進された。



保健体育（器械運動）



音楽（リコーダー練習）

模範となる演技をいつでも確認することができるため、繰り返し視聴していた。また、自分がよくできた演技を保存し、成果物とする他に、生徒間での参考動画にもなる。過去の自分の動画と比較したり、他者から助言をもらう機会が増えた。

生徒がいつでも、どこでも、リコーダーの練習ができるように、模範となる演奏を教師が自ら撮影して共有した。生徒も自分が演奏する動画を撮って、ミスがないかを自身で確認する様子があった。